



いばらき県議会だより

No.220

茨城県議会 検索 <https://www.pref.ibaraki.jp/gikai/>

※ホームページでは本会議および予算特別委員会を生中継および録画中継しています

「いばキラTV」<https://www.ibakira.tv/> 本会議および予算特別委員会を生中継しています
音声版「声の県議会だより」および「点字版県議会だより」も作成しています



発行:茨城県議会 編集:県議会情報委員会

〒310-8555 水戸市笠原町978番6

Tel.029-301-5646 [年4回発行]

都道府県部門 全国第1位 議会改革度調査2021

茨城県議会では、昨年3月に設置された茨城県議会改革推進会議の第一次答申を踏まえて、茨城県議会基本条例の見直しや議会審議・委員会審査の充実など積極的に議会改革を進めています。

先日発表となった早稲田大学マニフェスト研究所が実施する「議会改革度調査2021」において、茨城県議会が47都道府県議会の中で初めて第1位となりました。

今後も、県民の皆さまにとって、より開かれた県議会を目指し、議会改革に取り組んでまいります。

茨城県議会の議会改革の主な取り組み

- 茨城県議会基本条例の見直し
 - ・災害などの発生に備えた議員BCP※1の策定
 - ・重要な政策などの事前説明の義務化
- 議会審議・委員会審査の充実
 - ・一般質問・質疑における分割質問の推奨
 - ・決算特別委員会の充実
- ICT化の推進
 - ・配付資料のペーパーレス化
 - ・オンライン委員会の試行的開催
- 県議選の投票率向上に向けた議会活動への県民参画の推進
 - ・県内大学との包括協定の締結
 - ・「県民との青空対話議会」や県議会モニター※2などの実施による広聴機能の強化
 - ・休日議会の開催
 - ・育児・介護を理由としたオンラインでの委員会出席、会議や視察などへの乳幼児・介助者・介助犬などの同伴受け入れ体制の整備

茨城県議会改革推進会議の詳細についてはこちらからご覧いただけます。

<https://www.pref.ibaraki.jp/gikai/kaikaku/kentoukeika.htm>



流通経済大学との包括協定締結の様子(令和4年6月16日(木))



傍聴席がほぼ満席となった休日議会の様子(令和4年6月11日(土))



休日議会での鈴木将議員と高校生との意見交換会の様子(令和3年11月28日(日))



茨城大学で開催した「県民との青空対話議会」の様子(令和3年10月30日(土))

第2回定例会の概要

令和4年第2回定例会は、6月6日から6月21日まで16日間の会期で開かれました。

議案は、議員から、緊急事態条項を含む憲法改正に取り組むことを求める意見書など、知事から、令和4年度茨城県一般会計補正予算、職員の育児休業等に関する条例等の一部を改正する条例などが提出されました。

一般質問は、常陸牛の振興、産業廃棄物最終処分場の設置地域選定の考え方、不妊治療の保険適用などの項目について行われました。(2～3面)

各常任委員会では、付託議案の審査、その他所管事務に関する質問を行い、県有施設におけるネーミングライツの募集結果、「いば旅あんしん割」に係る対応、119番映像通報システムなどについて議論されました。(4面)

予算特別委員会では、小中学校の児童生徒が政治や社会に関心が高まる取組、ひたち海浜公園の整備、子どもの給食に対する支援などについて質疑が行われました。(5面)

新型コロナウイルス感染症対策調査特別委員会では、有識者から意見を伺うとともに、県執行部から、主要なコロナ対策の検証や主に県内の営業制限・行動自粛等により多大な影響があった分野などについて聴取し、活発な議論が行われました。(5面)

今回の定例会では、予算、条例、人事報告、意見書など21件の議案が可決、同意、承認されました。

※1【議員BCP】…災害等発生時に議会業務を継続するため、茨城県議会基本条例第11条の2第3項の規定に基づき策定された具体的な計画。
※2【県議会モニター】…県議会の活動や広報に反映させることを目的に、県民から意見聴取や情報収集などを行うもの。

休日議会を開催しました

県議会活動への県民の皆様の理解と参画を推進するため、6月11日(土)、昨年度に引き続き「休日議会」を開催し、延べ403名の方々に傍聴していただきました。

休日議会の開催に合わせ、水戸女子高吹奏楽部による演奏会や水戸一高書道部・美術部の作品展示を行うとともに、県議会議員(舘静馬副議長、星田弘司議員、塚本一也議員)と茨城大学および常磐大学の学生ならびに水戸一高の生徒との意見交換会を開催しました。加えて、本県の未来を担う若い世代の主権者意識向上にもつながるよう、県政一般に関する質問(一般質問)を傍聴していただきました。

今後も、県民の皆様の県議会活動への理解と関心を広げ、県議会への参画を促し「光り輝く夢と希望にあふれた茨城」の実現に向け、取り組んでまいります。



舘静馬副議長と水戸一高生との意見交換会



星田弘司議員と茨城大学生・常磐大学生との意見交換会



塚本一也議員と水戸一高生との意見交換会



水戸女子高吹奏楽部による演奏会の様子

第2回定例会の主な日程

- 令和4年第2回定例会は、左記の会期日程で開催されました。
- 6月6日(月) 本会 議 (開会、知事提出議案説明)
 - 6月9日(木) 本会 議 (10日(金) 本会 議 11日(土) (一般質問・質疑))
 - 6月14日(火) 常任委員会 (15日(水))
 - 6月16日(木) 本会 議 (予算関係議案常任委員長報告等)
 - 6月17日(金) 予算特別委員会
 - 6月20日(月) 新型コロナウイルス感染症対策調査特別委員会
 - 6月21日(火) 本会 議 (委員長報告、採決、閉会)

一般質問(要旨)

● 質問者

- 6月9日(木)
- 長谷川 重幸 (いばらき自民党)
 - 福地 源一郎 (無所属)
 - 坂本 隆司 (いばらき自民党)
- 6月10日(金)
- 村本 修司 (公明党)
 - 豊田 茂 (いばらき自民党)
 - 鈴木 義浩 (いばらき自民党)
- 6月11日(土)
- 塚本 一也 (いばらき自民党)
 - 川口 政弥 (いばらき自民党)

こちらから録画映像でご覧になれます。



https://ibaraki-pref.stream.jfif.co.jp/?tpl=gikai_result&gikai_id=158

設置地域選定の考え方

議員 産業廃棄物最終処分場の設置地域選定に当たり、安全かつ地質学的安定性を担保できる調査をした根拠はあるか。鮎川への雨水放流は、台風や豪雨による水害などを検証した上で決めたのか。

知事 地質については、学識経験者の検討委員会や選定会議での文献や現地調査、基本計画策定でのボーリング調査などで確認している。豪雨災害も検証し、防災調整池や浸出水調整槽の容量を確保の上、安全性を最優先に取り組み。



福地 源一郎 議員 無所属 日立市選出

リユース産業として 水平リサイクルへの誘導

議員 循環を基調とした生活の豊かさや、環境保全を両立させたライフスタイルへの転換が求められる。リユース産業および水平リサイクルの導入について、県としてどのように誘導していくのか。

県民生活環境部長 リユース産業は社会に根付いているが、引き続き、消費者への意識付けが必要。ペットボトルの水平リサイクルなど多面的な啓発を通じ、県民のリユースの取り組みを促していく。



整備計画地(日立セメント(株) 太平田鉱山跡地)

常陸牛の振興



長谷川 重幸 議員 いばらき自民党 銚田市・茨城町・大洗町選出

議員 常陸牛の振興では、他県の銘柄牛にも負けないよう、肉質の向上を図るほか、流通・販売対策に取り組み必要があるが、所見は。

農林水産部長 霜降りのきめ細かさなどを指数化する肉質基準の導入の検討のほか、輸出対策として海外ECサイトでの販売拡大やカナダなどの新たな輸出先の開拓に取り組み。また、と畜・流通環境の整備では、県中央食肉公社の改革に取り組み、輸出にも対応できる施設の整備も検討していく。

県立高校スクールバスの今後の在り方

議員 利用生徒の減少により、スクールバスが相次いで廃止となる懸念がある中、今後の在り方を検討すべきだと考えるが、所見は。

教育長 人口減少による社会構造の変化の中、スクールバスの在り方を議論する必要があると考える。そのため、生徒の通学手段を調査し、地域的な課題を明らかにした上で、地元の意見に配慮しながら、どのような支援が可能か検討する。

(ほかに、外的影響で疲弊する企業への支援、農業用廃プラスチック処理適正化の進展なども質問)



県立高校スクールバスの今後の在り方について検討を

不妊治療の保険適用



坂本 隆司 議員 いばらき自民党 龍ヶ崎市・利根町選出

議員 不妊治療が保険適用となったことについて、県としてどう認識しているのか。また、保険適用外の不妊治療の支援も検討している必要があると考えるが、所見は。

福祉部長 経済的負担が軽減された新たに治療する方が増えること認識している一方、保険適用外の検査や薬の必要なケースも想定される。経済的理由で妊娠を諦めることがないよう、保険適用外の治療を受ける場合の助成制度の創設について国に強く要請を行っている。

公立中学校の部活動の在り方

議員 国でも部活動の地域移行という方向性が出ている今、一番の当事者である選手たちに混乱が起きないよう、どう対応するのか。

教育長 地域部活動への円滑な移行を進めるため、顧問教員の代わりに単独で指導・引率ができる部活動指導員の養成や、派遣可能な指導者を登録する人材バンクなどの整備を進めていく。

(ほかに、eスポーツ産業の活性化を通じた新産業の創出、若草大橋の利用促進に向け進んだ取組なども質問)



部活動に一生懸命取り組む子どもたち



村本 修司 議員
民主党 出
公立市 選

SDGsのチャレンジングな推進

議員 SDGsのさらなる推進のためには、推進本部の設置や茨城県SDGsアワードを開催するなど、多くのチャレンジが必要だと考えるが、今後どう取り組むのか。

知事 県総合計画の進捗管理などを担う新しい茨城づくり推進会議を通して県庁一丸となつてSDGsを推進している。今後は、取り組みが加速するよう、表彰制度などの先進事例を研究するとともに、多様なステークホルダーとの連携・協働を積極的に進めていく。



豊田 茂 議員
いばらき自民党
高萩市・北茨城市選出

いばらき沿岸部サイクリングルート構想

議員 令和2年度に福島県いわき市でルートが整備された。これを契機に、本県で既にルートがある大洗・日立間以外で整備の機運が高まれば、魅力豊かな沿岸部のルートが実現すると考えるが所見は。

知事 議員が提案するルートは、実現すれば誘客が期待できる新たなコンテンツになると考えている。安全で快適な通行環境や地域住民の理解などの課題はあるが、関係市町村の意向なども確認しながら前向きに検討を進めていく。



海風薫る大洗・ひたち海浜シーサイドルート

県立特別支援学校における将来の進路選択につながる学びの多様性

議員 デジタル化社会に沿ったカリキュラムを導入するなど、将来の進路選択につながる学びの多様性について今後どう取り組むのか。

教育長 推進する学校を指定し、情報に関する専門科目を取り入れるなど、教育課程の編成を柔軟に見直す。また、拠点校からオンラインで授業を配信し、生徒の就職につながるよう、より高度な情報活用能力の育成を図っていく。



SDGsの授業の様子

処理水海洋放出の風評被害根絶に向けた取組

議員 消費者の不安の払拭が産業や流通、生産者を守ることにつながる。国や県は正確な情報を県民や影響を受ける全ての消費者に伝え、風評被害根絶に全力を尽くしてほしい。今後の取り組みは。

防災・危機管理部長 国や東電に不安の払拭や風評被害防止を働き掛ける。また、国の海域モニタリング結果を周知するなど、安全性の情報発信に取り組んでいく。

(ほかに、ウクライナからの避難民受け入れ支援、ポストコロナを見据えた観光事業なども質問)



鈴木 義浩 議員
いばらき自民党
潮来市・行方市選出

鹿行地域における医療体制の充実

議員 ICTを活用した遠隔医療は、医療資源の限られた鹿行地域において、医療の充実を図る手段の一つとして非常に有効と考える。今後どう取り組むのか。

保健医療部長 令和3年度末時点で、県内全域の中核的な医療機関31カ所に整備が完了している「遠隔画像診断治療補助システム※2」などを効果的に活用しながら、鹿行地域において、誰もが安心して医療を受けられる体制の構築に向けてしっかりと取り組んでいく。

鹿行地域の農業の振興

議員 本県農業の所得向上に向け、潮来地域の水田農業や行方地域の園芸産地のさらなる振興が不可欠だが、県の取り組みは。

農林水産部長 大規模水田経営体の育成に取り組むとともに、スマート農業技術※3の導入を支援していく。また、茨城かんしょトッププランナー産地拡大事業※4を活用し、農地のマッチングなどに取り組む。農業者の経営安定を図っていく。



無人トラクターを活用した耕起作業

大学に進学しない生徒への支援

議員 今年度、大学進学率の向上を目標とする事業がスタートした。一方、大学に進学しない生徒に対しては、手厚く寄り添ったサポートを図るため、どう取り組むのか。

教育長 事業はAIDリルの活用などにより基礎学力の向上を図るもので、大学に進学しない生徒にも役立つ。今後も計画的なキャリア教育などにより、多様な進路希望を持つ生徒を支援していく。



TSMCの進出に大きな役割を担う産総研クリーンルーム



川口 政弥 議員
いばらき自民党
取手市 選

高度IT人材の確保

議員 本県産業の一層の発展に向け、IT人材の輩出強化は避けて通れない課題である。高度IT人材の確保、海外からのIT人材の受け入れに、どう取り組むのか。

産業戦略部長 今後、県立IT短大の専門性のさらなる強化や留学生の受け入れに取り組むほか、外国人材の受け入れに向けた県内事業者による現地視察ツアーや大学との連携による留学生向けのインターシップを実施するなど、IT人材の育成・確保に取り組む。

養殖を活用した本県水産業の振興

議員 持続可能性のある「儲かる水産業」の実現には、養殖を活用した本県の新たな水産振興も必要と考えるが、どう取り組むのか。

農林水産部長 高い収益性や商品性が見込まれる魚種の選定を行い、生で食べられるマサバや希少価値が高いブドウエビについて、技術開発を進めている。今後は、最新のICTを活用した実証事業に取り組む。



県栽培漁業センターでのマサバ養殖技術開発の様子

県議会の録画中継をご覧いただけます

県議会のホームページでは、これまでに開催された各定例会における、知事の提出議案説明、各党派議員の代表質問、一般質問、予算特別委員会質疑などの様子を録画中継でご覧いただけます。議会活動を文字で読むだけでなく、議場における各議員の質問・質疑の様子を映像と音声で見聞きすることで、県政で議論されている問題を、より身近に感じていただけます。

県議会の録画中継は、左記のURLまたはQRコードからご覧いただけます。
県議会ホームページ(録画中継)
<https://ibaraki-pref.stream.jfll.co.jp/>



議会人事

◆新議員
4月24日の茨城県議会議員補欠選挙において、幡谷好文議員(小美玉市選挙区)が当選され、同月25日付けで総務企画委員会の委員に選任されました。
◆委員会人事
6月6日付けで議会運営委員会副委員長に星田弘司議員が指名されました。

常任委員会の審査から

営業戦略農林水産委員会

「いば旅あんしん割」が全国に適用拡大された際の対応はポストコロナの旅先としての魅力をPRしていく

問 「いば旅あんしん割」の適用対象が全国に拡大された際、需要をどう取り込むのか。

答 「いば旅あんしん割」や北関東周遊フリーパスなどの情報と合わせて、自然豊かでキャンプやサイクリングなどの密を避けた体験が楽しめるポストコロナの旅先としての魅力を全国にPRしていく。

問 世界的な穀物需要の増加やウクライナ情勢などの影響で肥料価格の高騰が止まらない。経営が圧迫されている生産者に対し、農業大県としてどう支援するのか。

答 肥料価格高騰が農業経営に及ぼす影響は大きいと認識



「いば旅あんしん割」をPRするロゴマーク

総務企画委員会

県有施設におけるネーミングライツ^{※1}募集結果の評価と効果は導入施設の多様化や社員のモチベーション向上などにつながった

問 県有施設のネーミングライツを164施設で募集した結果、16施設の応募があった。どのように評価しているか。また、導入の効果は。

答 導入施設が増え、ネーミングライツ料の増額や導入施設が多様化が図られた。企業からは、通称や企業名の周知はもとより、社員のモチベーション向上など、さまざまな効果があつたと伺っている。

問 県内各地域の公共交通における課題は。また、公共交通にAIなどの技術を活用できないか。

答 人口減少による公共交通利用者の減少や、免許返納者



「県民幸福度 No.1 への挑戦」

土木企業立地推進委員会

企業が撤退しない件数も全国1位を目指すのだが、所見は企業のニーズに応えられるようにフォローアップしていく

問 本県に期待して立地した企業の撤退事例もあり、フォローアップが大切である。企業が撤退しない件数も全国1位を目指すべきだが、所見は。

答 設備投資補助の申請支援、道路周辺の除草や信号点灯時間の変更など、事業環境改善に関する関係機関との調整などを行っている。今後も企業のニーズに応えられるようにフォローアップしていく。

問 交通安全対策のため、区画線や横断歩道などの修繕、渋滞箇所での右折レーンの延長が必要だが所見は。

答 区画線は、優先度の高い箇所を計画的に修繕しており、



立地企業の事業環境改善にも寄与する道路整備(鹿島臨海工業地帯周辺での左折レーン2車線化)

防災環境産業委員会

119番映像通報システムをどう広報していくかイベントの場などあらゆる手段を講じて広報していく

問 119番映像通報システムの恩恵を広めるために、今後、どう広報していくのか。

答 通信指令員がシステムの利用を呼び掛けたものの、通報者がスマートフォンでの操作に不慣れで利用されなかった事案があつた。今後、システムを多くの県民に認識してもらうためにも、イベントの場などあらゆる手段を講じて積極的に広報していく。

問 国のコロナ対策の交付金は、コロナで困っている事業者に使うべきと考えるが、事業者に対する県の対策は。

答 金融機関への返済計画の柔軟な見直しの要請や新たな



119番映像通報システムのさらなる広報啓発を

文教警察委員会

高齢者の安全運転と社会生活の両立に向けてどう取り組むかセミナーの開催やサポートカー限定免許などの周知を図る

問 高齢者が安全に運転して社会生活を送れるよう、県警ではどう取り組んでいるのか。

答 シルバードライバーセミナーの開催など高齢運転者対策を進めている。また、サポートカーの限定免許など、免許を返納するまでのさまざまな支援制度の周知を図っていく。不安を解消し、安心して生活できるよう、あらゆる取り組みを進めていく。

問 部活動の地域移行により、平日と休日指導者が異なることになる。生徒が不安を感じることはないよう、環境整備にどう取り組むのか。

答 モデル校での成果を踏ま



シルバードライバーセミナーの様子

保健福祉医療委員会

本県も「リトルベビーハンドブック^{※2}」を導入すべきである本県版を早期に作成する

問 小さく生まれる赤ちゃんが増加しているが、母子手帳に成長を記録できるスペースがない。「リトルベビーハンドブック」を作成する自治体は増えており、本県も導入すべきであると考えますが所見は。

答 県民、市町村、医療機関の方から、作成してほしいとの要望が寄せられている。「リトルベビーハンドブック」の本県版を早期に作成したい。

問 医療人材が少ない本県では救急搬送手段の確立が必要である。ドクターヘリや防災ヘリの追加導入や、夜間飛行など命を守る取り組みが必要と考えるが、所見は。

答 救急医療を支える取り組みには、ドクターカーやICTなどもある。施策を総合的に考える中で、ご提案のドクターヘリの活用も検討していきたい。

(ほかに、ヤングケアラーの実態調査と支援の拡充、コロナ後遺症外来なども質問)



「いばらきリトルベビーハンドブック」の作成イメージ

ことば

※1【ネーミングライツ】…公共施設などに団体名や商品名などを冠した通称を付与する権利で、通称を施設などの名称として使用する代わりに、ネーミングライツ・パートナー(施設命名権者)からネーミングライツ料を頂くもの。

※2【リトルベビーハンドブック】…出生体重がおおむね1500g未満の赤ちゃんの親が、子どもの成長を記録できるハンドブック。母子手帳と併用して使用することができる。

予算特別委員会

●質疑者

6月17日(金)



こちらから▲録画映像でご覧いただけます。

- 磯崎達也(いばらき自民党)
- 二川英俊(いばらき自民党)
- 山中たい子(日本共産党)
- 玉造順一(立憲いばらき)
- 大和田寛樹(いばらき自民党)
- 高崎進(公明党)
- 飯田智男(いばらき自民党)

https://ibaraki-pref.stream.jfit.co.jp/?tpl=gikai_result&gikai_id=158

し、開発への県の意向を伝えていく。
(ほかに、特別な事情による予防接種の再接種に対する助成、部活動の地域移行も質問)

山中たい子委員(共産) 物価高騰に伴う子どもへの給食費への影響が懸念される中、食材費への支援および給食事業者への直接の財政支援を求めるが、所見は。

知事 12の市町村が給食費の保護者負担の軽減を図るため、国の地方創生臨時交付金の活用を検討中と伺っている。今後、物価高騰による給食事業者の収益への影響について実態を把握するとともに、学校給食事業者が安定して給食を供給できるよう努めていく。
(ほかに、洞峰公園の新たな事業計画、病院・社会福祉施設の避難計画なども質問)

玉造順一委員(立憲) 補正予算で今定例会に上程された2事業の推進は、カーボンニュートラルや魅力ある地域づくりに貢献すると考えるが、所見は。

知事 「いばらきエネルギーシフト促進事業」では県内事業者による自家消費のための太陽光発電設備・蓄電池導入を、「地域循環型エネルギーシステム構築事業」では農業生産と電力確保を両立するモデル的な取り組みをそれぞれ支援する。これらの事業を推進し、事業者のエネルギー転換を後押しする。
(ほかに、東海第二原発に係る広域避難計画と諸課題、保育士の処遇改善と人材確保なども質問)

大和田寛樹委員(自民) 事業者が有価物と主張する廃材などを、県が廃棄物として認定した場合、事業の解決に向けどう対応するのか。また、石岡市小見地区のような廃棄物堆積問題の解

決に向けた意気込みは。

県民生活環境部長 小見地区のような事業を含め、不法投棄や廃棄物の不適正な保管に対しては、その行為者の責任を徹底して追及し、悪質な法令違反の事実があった場合には、行政処分や告発も視野に入れ、厳しく対応する。
(ほかに、飼料価格の高騰で影響を受ける畜産農家への支援、乳がん・子宮頸がん対策の推進なども質問)

高崎進委員(公明) 救命率向上には初期治療までの時間短縮が重要と考えるが、どう取り組むか。また、重複要請の解消に向けドクターヘリの2機目導入を検討すべきと考えるが、所見は。

知事 救急搬送時間短縮のため、地域の中核医療機関の受け入れ体制強化などに取り組む。また、ドクターヘリの効率的な運用を図り重複要請の削減を行う一方、2機目導入は救急医療体制充実のための施策の一つとして効果を検証しながら慎重に検討していく。
(ほかに、障がい者の福祉的就労の充実、带状疱疹予防ワクチン接種なども質問)

飯田智男委員(自民) 今般、海外から日本への入国者数の上限が引き上げられるとともに、添乗員付きパッケージツアーの受け入れが再開した。こうした動きを受けて、海外からの誘客促進にどのように取り組んでいくのか。

営業戦略部長 海外の旅行会社へサイクリングやグランピングなどの観光メニューを提案し、本県を訪問するツアーの再開を見据え、台湾やタイ、英語圏を対象としたターゲット広告など、効果的なプロモーションを行う。
(ほかに、つくばエクスプレスの延伸、新型コロナワクチン接種なども質問)

令和4年度6月補正予算案が可決

国のコロナ禍における「原油価格・物価高騰等総合緊急対策」などに対応して、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止や県内産業などへの支援などの事業や、県政の課題などへ対応するために必要な事業について計上した令和4年度6月補正予算案(約99億6900万円の増)が可決されました。

6月補正予算に計上された主な事業

- 1 新型コロナウイルス感染症対策 98億700万円
 - ・営業時間短縮要請等関連事業者支援一時金(県の営業時間短縮要請などにより影響を受けた事業者に対する一時金の支給)
 - ・新しいばらきエネルギーシフト促進事業(再生可能エネルギーの導入のための設備整備を行う事業者への支援)
 - ・新しいばらきオーガニック生産拡大加速化事業(有機農業への転換を推進するための機械導入に対する支援など)
- 2 県政の課題等への対応 1億6200万円
 - ・新地域循環型エネルギーシステム構築事業(営農型太陽光発電のモデル的取り組みに対する支援)
 - ・新農業技術指導デジタル化推進事業(タブレット端末の導入などデジタル技術を活用した技術指導体制の構築)など

新型コロナウイルス感染症対策調査特別委員会を開催しました

第1回委員会が5月23日に開催され、調査方針および調査活動計画を決定したほか、茨城県よろず支援拠点チームコーディネーターの宮田貞夫氏より、「コロナ禍による業界のダメージとその回復に向けた支援の取組」について説明いただくとともに、意見交換を行いました。その後、県執行部から、「主要なコロナ対策の検証」や「主に県外からの移動制限・自粛等により多大な影響があった分野」などについて説明を受け、質疑が行われました。

6月20日には、第2回委員会が開催され、県執行部から、「主に県内の営業制限・行動自粛等により多大な影響があった分野」などについて説明を受け、質疑が行われました。

今後も、コロナ後の将来にわたって持続可能で活力ある茨城をつくるため、引き続き精力的に調査検討を進めてまいります。



中央に常井洋治委員長、その右隣に岡田拓也副委員長、ほか13名の調査特別委員会委員

委員会活動

総務企画委員会 (下路健次郎委員長)

スマート自治体の実現に向けたデータの利活用とデジタル人材育成の取り組みを調査 (5/19)

株式会社エム・データ (水戸市)

株式会社エム・データは、テレビ番組やCMデータの調査・分析などを行う会社で、独自のデータ収集システムを使用し、テレビ番組やテレビCMをテキスト・データベース化して「TVメタデータ」を構築し、顧客からの要望に応じ、カスタマイズして提供しています。

会社の事業概要について説明を受けた後、実際にデータ収集作業を行っている様子を視察しました。



作業場所を視察する委員

株式会社アプリシエイト (水戸市)

株式会社アプリシエイトは、ソフトウェア開発企業として、企業向けソリューション事業、IT顧問事業のほか、地域活性、デジタル人材の育成などの仕組みの創造を理念に、eスポーツ事業も展開しています。

会社の事業概要について説明を受けた後、eスポーツ体験を行いました。



eスポーツを体験する委員

防災環境産業委員会 (外塚潔委員長)

筑波山の登山道などの整備状況と霞ヶ浦の水質保全の取り組みを調査 (5/18)

筑波山 (つくば市)

筑波山の貴重な自然環境を保全し、自然とのふれあいの場として適正な利用を促進するとともに、コロナ禍の収束を見据えて県内外からの来訪者の増加に対応するため、衛生面や自然環境に配慮した高機能トイレの整備と、登山道の安全性や快適性の向上を図る改修を行っています。

自然公園施設管理整備事業の概要などについて説明を受けた後、質疑を行い、整備状況を視察しました。



整備状況について説明を受ける委員

茨城県霞ヶ浦環境科学センター (土浦市)

茨城県霞ヶ浦環境科学センターは、霞ヶ浦をはじめとする県内の湖沼、河川の水環境や大気環境などの保全に取り組むため、「調査研究・技術開発」「環境学習」「市民活動との連携・支援」「情報・交流」の四つの役割を担っています。

センターの概要や取り組み内容について説明を受けた後、小学生の環境学習の様子や施設を視察しました。



霞ヶ浦環境科学センターを視察する委員

保健福祉医療委員会 (川口政弥委員長)

新型コロナウイルス感染症への対応状況と医療専門職養成の取り組みを調査 (5/13)

土浦保健所 (土浦市)

県内の各保健所は、県民の健康の保持および増進を図るため、地域における公衆衛生の向上および保健、衛生、生活環境などに関する業務を担当しています。

土浦保健所の概要、新型コロナウイルス感染症の感染状況と対応および土浦保健所新庁舎の整備計画について説明を受けるとともに、新型コロナウイルス感染症の積極的疫学調査の様子など、庁舎内を視察しました。



新型コロナウイルス感染症への対応の様子を視察する委員

県立医療大学・県立医療大学付属病院 (阿見町)

県立医療大学は、看護師、保健師、助産師、理学療法士、作業療法士、診療放射線技師などの医療専門職を養成するとともに、医療系大学としては全国で唯一、付属病院を設置し、高度なリハビリテーション医療を提供しています。

大学および付属病院の概要や役割などについて説明を受けるとともに、看護学科の実習授業の様子や医療用ロボットスーツを活用したリハビリテーション医療を提供する様子を視察しました。



看護学科の実習授業を視察する委員

開会中の

営業戦略農林水産委員会 (高橋勝則委員長)

安全・安心な水稻の省力化栽培と「石岡のおまつり」を調査 (5/20)

(株)北龍ファーム (龍ヶ崎市)

(株)北龍ファームは、龍ヶ崎市内を中心に年々規模を拡大している水稻農家で、田んぼに直接種をまいて稲を育てる直播栽培や農業用ドローンを使った病害虫防除作業などの省力化技術を積極的に導入しています。また、コメでJGAP*を取得し、高水準の品質・安全性の確保に取り組んでいます。

令和3年3月に導入した乾燥調製施設(ライスセンター)を視察し、現在の取り組み状況や今後の課題について説明を受けました。



省力化技術やJGAPの取り組みについて説明を受ける委員

石岡市役所

石岡市では、「石岡のおまつり」を令和3年12月に「常陸国総社宮祭礼の獅子・山車・ささら行事」として、祭礼行事そのものを石岡市無形民俗文化財に指定しました。

「石岡のおまつり」は関東三大まつりの一つであり、毎年9月に行われ、期間中は約50万人の見物客で市街地が大変にぎわいます。今後、県・国の無形民俗文化財指定を目指しています。

おまつりの概要や入込客数増加に向けた取り組みについて説明を受けました。



「石岡のおまつり」について説明を受ける委員

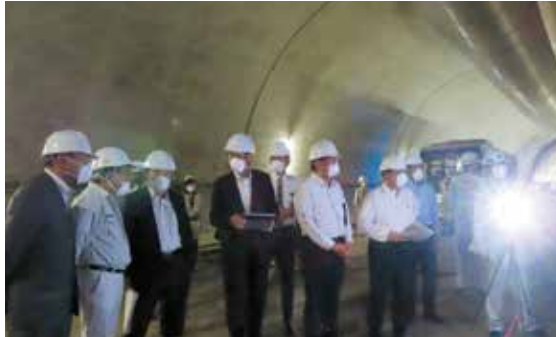
土木企業立地推進委員会 (長谷川重幸委員長)

(仮称)上曾トンネル整備事業と一級河川八間堀川河川改修事業を調査 (5/12)

(仮称)上曾トンネル整備事業
(合併市町村幹線道路緊急整備支援事業) (桜川市)

桜川市真壁町山尾と石岡市上曾間の上曾峠を通る主要地方道石岡筑西線は、山岳道路であり、冬季降雪時には通行規制を余儀なくされています。本トンネルの整備により、災害時の緊急輸送や筑波連山を挟む地域間の交流促進および地域振興が期待されます。また、県西地域から茨城空港までを結ぶ基軸が形成され、物流や観光を支える重要な路線となります。

本事業の整備状況について、筑西土木事務所から説明を受けた後、現地調査を実施しました。



トンネル内部で整備状況を確認する委員

一級河川八間堀川 河川改修事業 (常総市)

一級河川八間堀川は、下妻市加養地先を上流端とし、常総市水海道橋本町地先で新八間堀川に分岐し、常総市水海道淵頭町地先において小貝川と合流する全体延長17.77*の河川です。

大雨による浸水の被害などを防止し、地域住民が安心して暮らせるよう、現在は主要地方道土浦境線から上流の千代川工区4.65*で事業を進めています。

本事業の整備状況について、常総工事事務所から説明を受けた後、現地調査を実施しました。



事業の進捗について説明を受ける委員

文教警察委員会 (水柿一俊委員長)

茨城農芸学院と県立竜ヶ崎第一高等学校・附属中学校を調査 (5/16)

茨城農芸学院 (牛久市)

茨城農芸学院では、送致された少年に対して、その特性に応じた適切な矯正教育、その他の健全な育成に資する処遇を行うことにより、改善更生と円滑な社会復帰を図っています。近年は新たに、牛久シャトーのブドウ栽培協力を行うなど、地域と連携した先進的な取り組みを行っています。

施設概要や取り組み内容について説明を受けるとともに、施設の視察を行いました。



茨城農芸学院で説明を受ける委員

県立竜ヶ崎第一高等学校・附属中学校 (龍ヶ崎市)

県立竜ヶ崎第一高等学校・附属中学校では、民間出身の校長を中心として、高校ではスーパーサイエンスハイスクールに指定され、附属中学校ではロボットコンテスト全国中学校大会で優勝するなど、先進的な取り組みと実績を築いています。

取り組み内容について説明を受けるとともに、校内の視察を行いました。



校内を視察する委員

決算特別委員会の組織や審査方法を見直しました

昨年度の県議会改革推進会議における「予算への審査結果の反映など、決算審査の成果の見える化に向けた、組織や審査方法の見直しを検討すること」との答申を踏まえ、委員会内に常任委員会を基本とする三つの分科会を設置し、部門別審査を行うことで審査の効率化を図るとともに、翌年度の予算編成を見据えた改善要望を取りまとめ、翌年の第1回定例会の常任委員会で改善要望への対応を確認することで、審査成果の見える化を図ります。

選任した委員は次のとおりです。

委員長	半村 登	委員	下路 健次郎	委員	沼田 和利
副委員長	山岡 恒夫	委員	星田 弘司	委員	村田 康成
委員	海野 透	委員	飯田 智男	委員	大龍 愛一郎
委員	西條 昌良	委員	中村 修	委員	鈴木 義浩
委員	白田 信夫	委員	岡田 拓也	委員	齋藤 英彰
委員	小川 一成	委員	長谷川 重幸	委員	二川 英俊
委員	森田 悦男	委員	金子 晃久	委員	田村 けい子
委員	戸井田 和之	委員	塚本 一也	委員	八島 功男
委員	石井 邦一	委員	豊田 茂	委員	山中 たい子
委員	川口 政弥	委員	坂本 隆司	委員	玉造 順一

県議会主催の講演会を開催しました

6月21日、県議会主催の講演会を県議会議事堂大会議室で開催しました。

講師には、東京大学大学院法学政治学教授の金井利之氏をお招きし、「新型コロナウイルスの経験を踏まえた自治体議会改革」とのテーマでお話をいただきました。

金井氏からは、中央集権、地方分権といった行政学的視点から、県議会の立ち位置が、国と市町村、国家の視点と地域社会の視点、統治側と県民側、それぞれの中間にあり、これらを調和させる立場にあることが語られました。

また、コロナ禍により行政のデジタル化が加速する中、政策の立案や変更などに際し、法令以上に、システムの仕様やその改修コストなどが強い制約となる懸念など、今後の議会改革を考える上で、大変有意義な講演会となりました。



金井利之先生による講演の様子

○防災環境産業委員会から県民生活環境部長に対し、「霞ヶ浦水質保全対策等の充実・強化」について提言を行いました

防災環境産業委員会では、霞ヶ浦の水質浄化や自然環境の保全・創出および環境教育の推進は重要な課題であることから、生活排水対策の充実・強化、湖上体験スクールなどの体験型学習および自然環境科学に関する学習の充実などについて、県民生活環境部長に対し提言を行いました。

<https://www.pref.ibaraki.jp/gikai/inkai/teigen/220614pousai.pdf>



○文教警察委員会から教育長に対し、「農業関係高校における生産物の外部販売の即時再開」について提言を行いました

文教警察委員会では、県の農業関係高校における生産物の外部販売停止の方針に対し、生徒が生産意欲、夢や希望をもって取り組むことができるよう、外部販売の即時再開、販売停止の原因となった事故の再発防止策の早急な策定および農業関係高校などにおける魅力ある教育環境の整備などについて、教育長に提言を行いました。

<https://www.pref.ibaraki.jp/gikai/inkai/teigen/220615bunkyo.pdf>



流通経済大学との相互連携・協力に関する包括協定を締結しました

茨城県議会と流通経済大学は、6月16日、相互連携・協力に関する包括協定を締結しました。

流通経済大学は、建学の理念に流通経済一般に関する研究と教育の振興を掲げ、交通・流通やスポーツ・健康科学分野などの多様な人材を育成しています。

本県では、広域交通ネットワークの整備や企業立地の促進、また、長期化するコロナ禍で県民の命や健康を守り、疲弊した経済の立て直しにも取り組む必要があります。そのため、これらの分野で専門的な知見を有する同大学との協定締結は大変有意義なものです。

今後は、連携事業を通じて、議会の「政策立案機能」を磨き上げていくとともに、将来の茨城を担う「人材の育成」などにつなげてまいります。

今定例会で可決された議案

議員提出

◆意見書

○緊急事態条項を含む憲法改正に取り組むことを求める意見書

知事提出

◆令和4年度補正予算関係

○一般会計予算

◆条例の一部改正

○職員の育児休業等に関する条例等の一部を改正する条例

○茨城県議会議員及び茨城県知事の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例

◆報告

○地方自治法第179条第1項の規定に基づく専決処分について

◆人事

○副知事の選任について

※意見書の全文は議会ホームページでご覧になれます。
https://www.pref.ibaraki.jp/gikai/tyori/tyori202207_pdf/ikensyo.htm#1



今回の、令和4年第3回定例会は、9月1日から9月28日までの28日間の会期日程で開催される予定です。

月日	曜	議事予定
9. 1	木	議会運営委員会、本会議 (開会、知事提出議案説明)
2	金	休会 (議案調査)
3	土	
4	日	
5	月	休会 (議案調査)
6	火	議会運営委員会、本会議 (代表質問・質疑)
7	水	本会議 (代表質問・質疑)
8	木	議会運営委員会、本会議 (一般質問・質疑)
9	金	本会議 (一般質問・質疑)
10	土	
11	日	
12	月	本会議 (一般質問・質疑)
13	火	本会議 (一般質問・質疑、議案常任委員会付託)
14	水	休会 (委員会審査準備)
15	木	休会 (常任委員会)
16	金	休会 (常任委員会)
17	土	
18	日	
19	月	(敬老の日)
20	火	議会運営委員会 本会議 (予算関係議案常任委員長報告、予算関係議案予算特別委員会再付託)
21	水	休会 (決算特別委員会)
22	木	休会 (予算特別委員会)
23	金	(秋分の日)
24	土	
25	日	
26	月	休会 (新型コロナウイルス感染症対策調査特別委員会)
27	火	休会 (議事整理)
28	水	議会運営委員会、本会議 (委員長報告、採決、閉会)